

# 平成 28 年度 学校自己点検・自己評価

---

Y I C 看護福祉専門学校

学校教育法施行規則第 189 条及び第 190 条において専修学校及び各種学校についての準用が規定されており、専修学校・各種学校においては、「自己評価の実施と評価結果の公表が義務化され」「学校関係者評価の実施と評価結果の公表が努力義務化されている。本校では、学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めることを目的とし、学校自己点検・自己評価並びに学校関係者評価を実施している。

## 平成 28 年度学校自己点検・自己評価

### 1 平成 28 年度の課題

- (1) 各科目 1 コマの授業について、コマシラバスを作成する。
- (2) 事務分掌表及び事務手順を整備し、教育の実施体制を充実させる。
- (3) 学校情報を保護者会、高校訪問、来校企業へ提供する。
- (4) 退学結果に関する検証を充実させる。
- (5) 卒業生の就職先への訪問等、卒業後の支援を充実させる。

### 2 課題に対する取り組み状況

課題	取り組み状況	今後の方針
(1)コマシラバスの作成	シラバスの内容修正 コマシラバスの作成	国家試験出題基準との照 合、教育内容の重複等の調 整を図る。 学内教員の担当科目全ての コマシラバス作成
(2) 教育の実施体制の充 実を目指し、事務分掌 表・事務手順の整備	事務分掌表に基づき、事務 手順は整えつつある	引き続き、各担当者による 事務分掌の見直し、作成を 図る
(3)学校情報の保護者会、 高校訪問、来校企業への 提供	YIC グループの特徴、本校 各学科の特徴、カリキュラ ム編成、学校行事について、 情報提供している	継続した取り組み
(4)退学結果に関する検 証	休・退学を決意する以前の 学生情報の把握、学生の思 いを受け止め、学生自身が 納得して意思決定できるよ うに導くために教員の対応 方法の確認を行う	継続した取り組み
(5) 卒業後の支援の充実 (卒業生の就職先への 訪問等)	就職先訪問 卒業生・職場上司へのアン ケート 就職先との情報交換 卒業生来校時の情報収集と アドバイス 卒後教育 (介護福祉学科)	計画的な就職先訪問 継続した取り組み

### 3 学校自己点検・自己評価の実施

#### (1) 評価方法

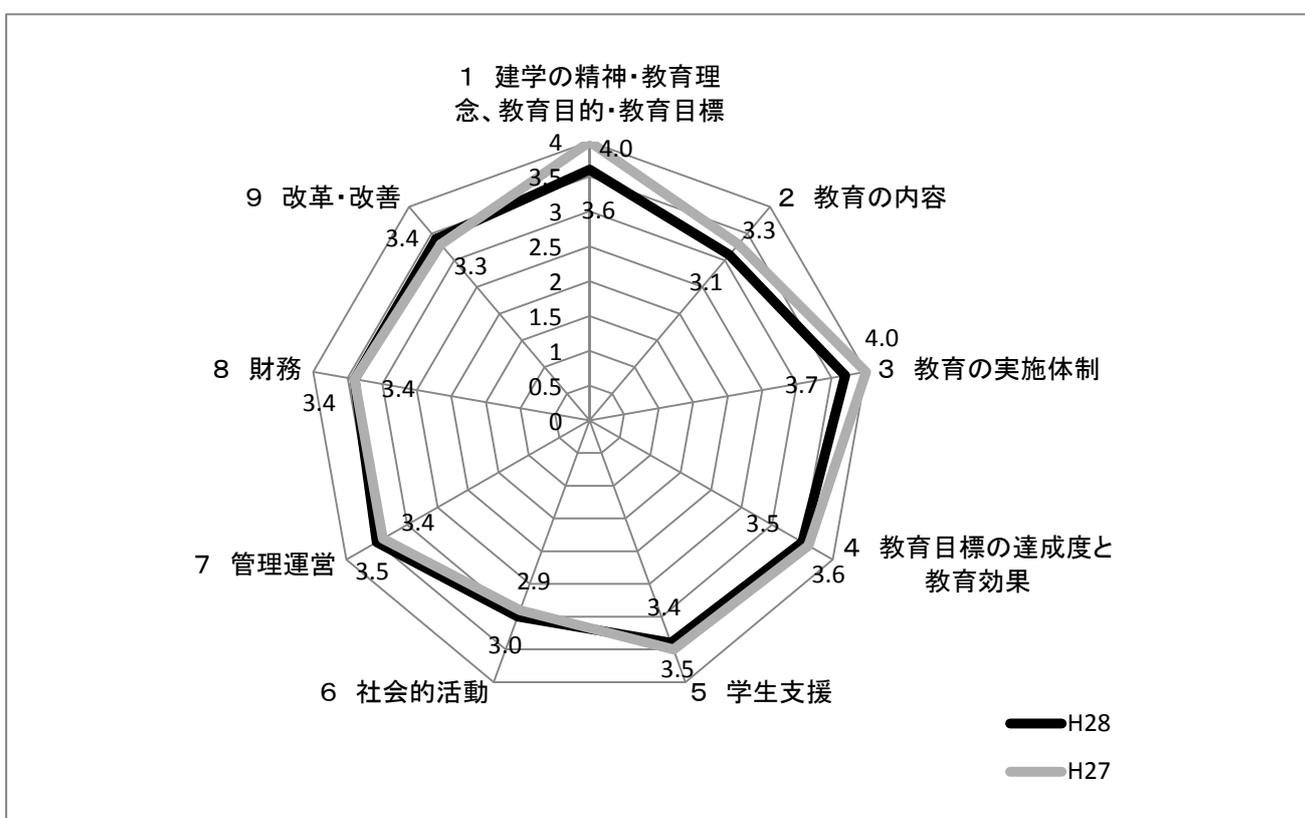
評価内容：全国専門学校経営研究会自己点検・自己評価項目（9個の大項目、132個の小項目）

#### (2) 評価者：教職員全員

#### (3) 評価時期：平成28年12月20日～平成29年1月31日

### 4 評価結果

図1 平成27年度及び平成28年度の評価結果



### 5 大項目の評価の根拠、改善内容及び課題

#### (1) 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

学校案内（パンフレット）、ホームページ、学生便覧に掲載している。  
各教室に校訓を掲げ、学生やOC等の来校者にも周知している。

#### (2) 教育の内容

カリキュラム編成は、学科内で協議、教育課程編成委員会を経て学内決済を得ている。

シラバスは、国家試験出題基準、学生の授業評価を基に毎年見直しを行

い、授業内容の充実を図っているがコマシラバスの作成には至っていない。  
学内講師の授業評価アンケートは計画的に実施し、教員自身の内省、  
教育内容の見直しに役立てている。

教員のスキルアップのために外部研修等の機会が年に数回あり、学生  
の教育内容の充実に活用されている。

社会人基礎力の育成・強化に向け、ビジネスマナー、接遇、自己認知、  
就職実務等、YIC グループ内の協力を得て、更なる充実を図る。

学内教員の担当教科のコマシラバスの作成を行う。

看護学科の教育の強みである看護技術力の強化、I C L S 研修の更なる  
充実を図る。

介護福祉学科は、レクリエーション介護 2 級を取得した教員による指導  
を受け、学生全員が卒業までにレクリエーション介護 2 級取得を目指す。

### (3) 教育の実施体制

学生の学習環境を整えるために、学生、教職員が協力して学内の整理  
整頓、防災・防犯設備点検等に努めている。

環境美化活動は、計画的に実施・チェックされている。

学生に必要な図書・視覚教材の充実を図るとともに、学生図書委員会と  
連携し、紛失防止対策の強化を図る。

### (4) 教育目標の達成度と教育効果

退学者数については、ホームページの情報公開ページにて公表した。

卒業生については、半年後アンケートでの把握はしているが 1 年後以  
降は来校する施設幹部や卒業生からの情報に留まっている。

卒業生及び職場上司へのアンケート調査方法（時期・内容）の検討を行  
う。

### (5) 学生支援

入学前、在学時は概ね組織的に行われているが、卒業後の支援は十分  
とは言えない。

表 1 平成 28 年度休・退学者 (平成 29 年 1 月 31 日現在)

	看護学科			介護福祉学科	
	1 年生	2 年生	3 年生	1 年生	2 年生
休学	4	3	0	0	0
退学	1	1	1	1	1

退学理由は別職種への変更 2 名、家庭の事情 2 名、健康面の理由 1 名、  
経済的理由 1 名であった。

休・退学を決意する以前の学生情報の把握、学生の思いを受け止め、  
学生自身が納得して意思決定できるように導くために教員の対応方法の

確認を行っている。

休・退学抑止に向け、引き続き学生が相談しやすい環境づくりに努める。

卒業生の就職先への訪問を計画的に実施する。

保護者への教育の紹介等、情報発信方法を検討する。

(6) 社会的活動

学生は年間平均2～3回のボランティア活動に積極的に参加している。

地域住民への医療・福祉に関する情報発信や啓蒙活動を積極的に行っていく。

(7)～(9) 管理運営、財務、改革・改善

学生の生活の充実を図るために、各種規定は見直し、修正されつつある。

理事会・評議委員会、人事規程・賃金制度等、本部管理のものも多くあるが、本校においては、各部門代表者による経営状況や運営状況を協議する会議、管理職による学校運営会議、全職員による職員会議を毎月実施している。また、各学科会議を随時開催し、円滑な学科運営を心掛けている。

外部委員会として、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を設置し、職業実践専門課程認定校としての責任が果たせるよう努力している。

平成28年度全国専門学校経営研究会 自己点検・自己評価結果 (H28,12,20 ~H29,1,31実施)

項目の重要度ランク Aランク:設置基準レベル(専修学校として必須) Bランク:全国専門学校経営研究会加盟校目標 Cランク:理想的な姿(努力目標)	評価基準 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切
---	--

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標 <自己点検・評価項目>		重要度 ランク	28年度 評価	27年度 評価	26年度 評価	実施状況	
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育人人材像等が、明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか	1	【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	A	3.6	4	4	「学生便覧」の頁参照
	2	【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	B	3.7	4	4	「経営計画書」12、13頁に記載の一文を添付
	3	【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP・パンフレット・募集要項等)	B	3.7	4	4	HP、パンフレット・募集要項、学生便覧に記載
	4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか。	C	3.6	4	4	「経営計画書」12頁に記載の一文を添付学生便覧9～12頁に記載
評価の根拠	教育理念・目的・目標、育人人材像については、学生便覧、教職員手帳に明文化されている。教職員は朝礼時に復唱している。各教室に校訓を掲げ、学生やOC等の来校者にも説明し、周知している。						
改善内容及び課題	引き続き実施していく						
2 教育の内容 <自己点検・評価項目>		重要度 ランク	28年度 評価	今年度 評価	昨年度 評価		
各学科の教育目標、育人人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか	1	育人人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	3.7	4	4	「学生便覧」14～19頁に記載
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	3.2	3	3	各学科教員全員で検討・作成を行っている
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	C	3	3	3	複数の内部職員で構成
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	C	3	3	3	厚生労働省の許可を得ており、教育課程編成委員会も開催している
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	3.6	4	4	全科目についてシラバス作成
	6	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	B	3.8	4	4	入学時に配布
	7	上記において各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	B	3.7	4	4	毎年度冊子をして集約
	8	各科目の1コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	C	2.9	3	2	各科目1コマごとのシラバスを作成
各学科の教育目標、育人人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか	9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	B	3.7	4	4	科目終了時実施
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	3.3	4	4	アンケート結果に基づき面接を実施
	11	結果に基づく研修を実施しているか。	C	3	3	3	グループ校全体の研修・各職能団体研修・学会等に参加
	12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	2.9	3	3	各期1回実施
	13	結果に基づく教員のレポート報告書・改善計画書等が作成されているか。	C	2.9	3	3	個々に取り組んでおり、結果の集積はない
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	C	3	3	3	個々に改善しているが結果の集積はない
	15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	C	2.8	3	3	23年度まで委員会開催できたが実習の関係で困難。学科単位で。
各学科の教育目標、育人人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	B	3.1	3	3	実習はあるが独占業務上(看護は)就職のための見学のみ
	17	キャリア教育などを行っているか。	C	3.2	3	3	特別講義として実施
	18	ビジネス教育を行っているか。	C	2.9	3	3	ビジネスマナー、就職実務、接遇など実施
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。	C	3.7	4	4	シラバス参照
	20	リメディアル(導入前教育・補習)教育をやっているか。	C	3.3	4	4	実施している
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	3	3	3	依頼で実施(高校への出前授業)
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	C	2.9	4	4	施設認可に関わる為、県や厚労省と絶えず連携している
各学科の教育目標、育人人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取り組みがされているか	23	教職員の研修計画が作成されているか。	C	2.9	3	3	特に新人教員の研修に力を入れている
	24	専門性や指導力等の把握や評価・維持・向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	3	3	3	成年後見人制度やパワハラについてなど内部研修
	25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	B	2.8	3	3	外部研修については自費参加もある
	26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	C	3.1	3	3	年度予算に計上している
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング・報告書・教務日誌等)	B	3.2	3	3	毎回顔を合わせ講義の進捗・学生状況・教材等の連絡調整を実施
評価の根拠	カリキュラムは教育課程編成委員会の意見を尊重し各学科教員で検討・作成している。シラバスは全教科作成している。授業評価アンケートを単元ごとに実施し、教員個々の内省、授業改善につなげている。教職員のスキルアップ研修が計画的に実施されている。						
改善内容及び課題	シラバスをコマシラバス化に向けさらに整備していく						

3 教育の実施体制 <自己点検・評価項目>					重要度 ランク	28年度 評価	今年度 評価	昨年度 評価	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか	1	組織機能図があるか。	A	3.8	4	4	ある		
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	3.9	4	4	ある		
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	C	3.9	4	4	ある		
	4	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか。	C	3.5	4	4	ある		
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	B	3.6	4	4	キャリアサポート室あり		
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	3.4	4	4	「学生便覧」に記載		
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	3.7	4	4	「学生便覧」に記載		
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	B	3.8	4	4	「学生便覧」に記載		
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか。	B	3.9	4	4	清掃分担表により学生・教員がチェック		
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	B	3.7	4	4	「学生便覧」に記載。事故防止マニュアル他		
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	A	3.9	4	4	総合保障制度(will)に1年次から加入		
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	A	3.8	4	4	実施している		
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	A	3.7	4	4	図書は、毎月数量確認。物品は使用の都度点検・整備		
評価の根拠	組織図、年間行事予定等一応の環境は整備されている 環境整備は計画的に実施、チェックされている。								
改善内容及び課題	学生に必要な図書・視覚教材の充実を図るとともに、学生図書委員会と連携し、紛失防止対策の強化を図る。								
4 教育目標の達成度と教育効果 <自己点検・評価項目>					重要度 ランク	28年度 評価	今年度 評価	昨年度 評価	
各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	A	3.7	4	4	100%到達		
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B	3.7	4	4	各科で記載 職員会議等で全員に通知		
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	B	3.7	4	4	様式に基づき記録有		
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	C	3.6	4	4	報告書を提出 検証はしていない。希望場所へほぼ100%就職できている。		
	5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)	B	3.8	4	4	パンフレット・HPで公表		
	6	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A	3.7	4	4	常に100%目標		
	7	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	3.7	4	4	学科会議・職員会議で共有		
	8	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	C	3.3	3	3	県や国に報告		
	9	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	B	3.5	3	3	インターネットで公表		
	10	退学率の目標を設定しているか。	A	3.7	4	4	3%以内		
	11	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	3.6	4	4	運営会議で共有 各学科ごとで共有		
	12	退学結果に関して検証・報告がされたか。	C	3.4	4	4	運営会議で報告		
	13	退学者数を公表しているか。	C	3.4	3	2	HPIにて職業実践専門課程における情報公開		
	14	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	C	3.8	4	4	記録している		
	15	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	C	3.4	3	3	拒否する学生もおおり個人的には公表していないが就職場所はHPで公表		
	16	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。	C	3	3	3	各職能団体の中で入手は可能であるが記録していない		
	17	卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を公表しているか。	C	2.7	2	2	学校関係者評価委員会及び保護者会において報告している		
評価の根拠	退学者数については、ホームページの情報公開ページにて公表した。卒業生については、半年後アンケートでの把握はしているが1年後以降は不十分								
改善内容及び課題	卒業生及び職場上司へのアンケート調査方法(時期・内容)の検討								

5 学生支援 <自己点検・評価項目>					重要度 ランク	28年度 評価	今年度 評価	昨年度 評価	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか（入学前）	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	3.8	4	4	パンフレットに明示		
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A	3.8	4	4	パンフレットに明示		
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A	3.9	4	4	明示している		
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A	3.8	4	4	明示している		
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができていますか。	A	3.8	4	4	出来ている		
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	A	3.9	4	4	行っている		
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか。	C	3.5	4	4	OC時に行っている。その他、来校者に希望があれば実施している		
	8	入学者に対し学習・学生生活のためのオリエンテーションは行われているか。	B	3.9	4	4	入学時実施		
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか（在学時）	9	担任による面談が定期的に行われているか。	B	3.2	4	4	行っている		
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	C	3.6	4	4	キャリアコンサルタント2名		
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	C	3.7	4	4	医師、保健師、助産師、看護師、精神保健福祉士、などがおり常に内容に応じ対応		
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	C	3.7	4	4	全職員がかかわる。学生も周知しており教員を選択している		
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	C	3.7	4	4	同上		
	14	学生の面談・相談記録があるか。	B	3.6	4	4	ある		
	15	定期的に健康診断を行っているか。	A	3.9	4	4	行っている		
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A	3.9	4	4	ある		
	17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B	3.5	4	4	必要の都度実施。かなり頻回に実施している		
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか（卒業後）	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	C	3.6	4	4	ある		
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	B	3.4	4	4	就職ガイダンスを実施(教員・病院・施設等)		
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C	2.9	3	3	国試不合格者への支援を実施 公開講座や研修会への呼びかけ		
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	C	2.6	2	3	実習や募集、卒業生アンケート時に情報入手している		
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP・学校便り等)	C	2.8	3	3	ブログやHPで掲載		
上記以外を通じての学生支援	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	C	2.3	3	3	年1回の保護者会は開催している		
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	C				非該当		
	25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP・学校便り等)	C	3.1	3	2	保護者会、HP、ブログにて知らせている		
	26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	C	3.2	3	3	HP等に掲載しているのであれば、画面のハードコピーを添付		
	27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り・DVD等)	C	2.6	2	2	YIC学校便りにより知らせている		
評価の根拠	卒業後の定期的な訪問や企業への情報発信が十分できていない								
改善内容及び課題	卒業生の就職先への訪問を計画的に実施する。 保護者への教育の紹介等、情夫発信方法を検討								
6 社会的活動 <自己点検・評価項目>					重要度 ランク	28年度 評価	今年度 評価	昨年度 評価	
意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか。	C	3.5	4	4	地域清掃活動、天神七夕まつり、施設や病院の文化祭等		
	2	地域社会の行政・商工業・教育機関・文化団体等へ加盟をしているか。	B	3	3	3	全専研・看護協会・社会福祉協議会その科関係学会へ加入		
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	B	3	3	3	参加している		
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	B	3.5	4	4	貸会場や出前講座を実施		
	5	社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を評価・単位認定しているか。	C	2.1	2	2	認定していない		
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	2.7	3	4	ICLS研修年2回実施 OCでBLS実施し参加者も増加		
評価の根拠	ICLS研修、ボランティア活動等積極的に実施している								
改善内容及び課題	ボランティア活動は年々活発になっているが、ICLS以外の公開講座など検討								

7 管理運営 <自己点検・評価項目>					重要度 ランク	28年度 評価	今年度 評価	昨年度 評価	
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的に開催されているか。	A	3.7				本部にて開催 非該当	
	2	評議員会が定期的に開催されているか。	A	3.8				同上	
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	A	3.4				同上	
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。	B	3.9	4	4	4	毎月職員会議・運営会議開催、学科会議他は必要の都度開催	
	5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	A	3.7	4	4	4	している	
	6	決裁規程が文書化されているか。	B	2.9	2	2	2	されていない	
	7	人事規程が文書化されているか。	B	3.3	3	3	3	本部保管	
	8	人事考課制度は文書化されているか。	B	3.3	3	3	3	本部保管	
	9	昇進・昇格制度は文書化されているか。	B	3.2	3	3	3	本部保管	
	10	賃金制度は文書化されているか。	A	3.1	3	3	3	本部保管	
	11	採用制度は文書化されているか。	B	3.1	3	3	3	本部保管	
	12	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	A	3.8	4	4	4	マニュアル作成「学生便覧」にも掲載	
	13	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	A	3.8	4	4	4	同上	
	14	定期的に防災訓練を実施しているか。	A	3.8	4	4	4	毎年10月実施	
	15	個人情報保護規程が文書化されているか。	A	3.8	4	4	4	している。「学生便覧」にも掲載	
	16	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	B	3.8	4	4	4	している。「学生便覧」にも掲載	
	17	公印管理簿があるか。	B	3.8	4	4	4	ある	
	18	出退勤管理簿があるか。	A	3.8	4	4	4	ある	
	19	受信・発信簿があるか。	A	3.7	4	4	4	ある	
	20	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されているか。	C	3.1	3	3	3	本部主催研修等実施	
	21	教職員の健康診断がされているか。	A	4	4	4	4	毎年4月実施	
評価の根拠	各種規定は見直し、修正されつつある。								
改善内容及び課題	事務分掌に基づいた業務遂行を目指し、事務分掌の見直し、教職員への周知を行う。								
8 財務 <自己点検・評価項目>					重要度 ランク	28年度 評価	今年度 評価	昨年度 評価	
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1	年度予算・中期計画が策定されているか。	A	3.7	4	4	4	計画している	
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	B	3.6	4	4	4	毎月経営会議で確認	
	3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	B	3.4	4	4	4	本部保管	
	4	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。	B	3.1	3	3	3	本部保管	
	5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	A	3.2	3	3	3	本部保管	
	6	固定資産管理規程が文書化されているか。	B	3.2	3	3	3	本部保管	
	7	図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。	C	3.7	4	4	4	している。「学生便覧」にも掲載	
	8	物品(消耗品・貯蔵品)等の在庫管理をしているか。	B	3.2	3	2	2	各部署にて整備中	
	9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	A	3.2	3	3	3	電気ELは毎月実施	
	10	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	B	3.4	4	4	4	10万以上は相見積もりの結果で購入	
評価の根拠	予算計画・執行、監査体制は整っている。								
改善内容及び課題	物品等の在庫管理は各部署にて整備を進めているが、教職員の周知が図れていない。								
9 改革・改善 <自己点検・評価項目>					重要度 ランク	28年度 評価	今年度 評価	昨年度 評価	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	B	3.1	3	3	3	本部様式により自己申告表で実施	
	2	自己点検・評価の組織があるか。	B	3.7	4	4	4	委員会	
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	C	3.3	3	3	3	委員会で検討改善	
	4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	A	3.7	4	4	4	職員会議で報告指導	
	5	自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。	B	3.7	4	4	4	結果に考察を加筆したものを全教員に供覧している	
	6	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	B	3.2	3	3	3	改善に取り組んでいるが、必ずしも計画的ではない	
	7	自己点検・評価報告書があるか。	B	3.4	3	3	3	まとめている。	
	8	自己点検・評価報告書が公表されているか。	C	3.3	3	3	3	公表している	
評価の根拠	自己点検・評価は校内会議で検討、学校関係者評価委員会で報告・承認を得ている。 4								
改善内容及び課題	自己点検・評価結果を教職員で共有できるよう努める								